

【学習指導案の様式例】（中学校版）

※指導案は教科・領域等により違いがあるので、各校で工夫して作成してください。

第○学年 ○○科学習指導案

令和○年○月○○日（ ）○校時

指導者 職名 ○○ ○○

場 所 ○年 ○組 教室

1 単元（題材）名 「 _____ 」

2 単元（題材）の目標

- ・本単元（題材）を通して児童生徒に身に付けさせたい力を、学習指導要領の目標や指導内容と関連付けて具体的に記述する。

3 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>文末を「～している」とする。</p>	<p>①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)</p> <p>②「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)</p>	<p>①積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって紹介しようとしている。</p> <p>文末を「～しようとしている」とする。</p>

- ・国立教育政策研究所から示されている「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(令和2年)を参照する。

- ・生徒の姿がどのような学習状況となっていれば、単元の目標が達成できたと判断するのか、その拠りどころとなる規準を、年間計画に基づいて観点ごとに簡潔に記述する。

4 単元（題材）について

(1) 教材（題材）観

- ・教材（題材）の持つ価値や内容、教材解釈、単元（題材）の目標を達成するために、この教材のどのようなところが適しているのかや、教材の系統性等を記述する。
- ・発達の段階や教材の特質等の観点に即して教材と生徒との関係を記述する。

(2) 生徒観（生徒の実態）

- ・本単元（題材）の学習に対する関心の程度や学習経験の有無、基礎となる知識や技能の習得状況等について、生徒の実態を記述する。

(3) 指導観

- ・教材観と生徒観を踏まえ、本単元（題材）を通して育てたい生徒の姿を実現するための具体的な指導上の工夫、支援の方法等を記述する。

5 研究テーマとの関わり

- ・研究テーマから見た本単元（題材）における生徒の現状，本単元（題材）を通して育てたい姿や指導上特に留意したいことを記述する。
- ・研究の視点と，視点からの具体的指導の手立てを記述する。

6 指導計画

「ねらい」「主な学習活動」「指導上の留意点」「時数」「評価規準（評価の観点）」等について記述する。

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準〔評価の観点〕
1			
2 本 時	・～する。	・させる。促す。助言する。	・～しようとしている。〔態度〕 ・～している。〔知識・技能〕

※評価時期と評価方法を明確にする。その上で，まとめて評価することも有り得る。

7 本時の指導

(1) ねらい

- ・本時で，身に付けさせたい力と学習活動の具体を簡潔に記述する。単元目標（指導事項）との整合性にも留意する。

(2) ねらいに迫るための手立て

- ・授業場面の「どこで」「どのような働き掛けを」「なぜ行うか」などについて，具体的に記述する。

(3) 指導過程（○時間／○○時間）

段階	主な学習活動	主な発問と指示 予想される生徒の反応	指導上の留意点 ◇評価（評価規準と評価方法）
導 入	○具体的な学習活動について，生徒の立場から記述する。		○本時の目標を達成するための具体的な手立てを記述する。（例：～を○○することにより，興味・関心を高める。）
○ 分	めあて（本時の目標を達成するための学習課題を生徒向けの言葉で記述する。）		
展 開	・「～に気付く」「～について考える」「～について話し合う」などの表現となる。	○主な発問を具体的な言葉で記述する。 ○生徒の反応を具体的に記述する。 例えば， ◎「十分満足できる」状況と判断される生徒の考え ○「おおむね満足できる」状況と判断される生徒の考え △「努力を要する」状況と判断される（「おおむね満足できる」に達していない）生徒の考え	○特別な教育支援を必要とする生徒への配慮事項や手立てを記述する。 ○学習形態や，教材や資料の扱いについて，指導の意図を明確にして記述する。 ◇「6 指導計画」の評価規準に対応させて記述する。
○ 分			～している。〔知識・技能〕 （観察・ノート）
終 末			

(4) 評価

本時の評価規準	<ul style="list-style-type: none">・「おおむね満足できる」具体的な状況を記述し、文末は「～している。」とする。・「6 指導計画」の評価規準が入る。
「十分満足できる」と判断される生徒の状況	<ul style="list-style-type: none">・「十分満足できる」状況と判断される生徒の姿を具体的に記述する。
「努力を要する」状況と判断される生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none">・Bの状況を実現するための指導や支援の具体的な手立てを記述する。

(5) 板書計画

- ・本時のめあてや学習の手掛かり、生徒の学びの軌跡、本時のまとめや振り返りなど、生徒の学習の助けとなるように内容や構造を工夫する。

(6) その他

- ・座席表、ワークシート、授業に関連するものがあるときは添付する。